母校の校歌は人生の応援歌！

母校である中学校の卒業式に出席した。私にとって５２年ぶりの卒業式だ。式が始まると、タイムスリップして在籍した当時がよみがえってきた。

共に学んだ仲間たちとの別れ。親身になって教えてくださった先生方との別れ。そして間近に迫る高校入試への不安と焦り。これらが入り混じった得体の知れない心境に襲われる。しかし、この心境を払拭してくれたのが校歌だ。軽快でわき立つようなメロディーと含蓄のある歌詞が、折れそうになる心を癒してくれる。前へ突き進む大きな力となる。

以来ずっと現在に至るまで、折に触れて校歌を口ずさんだり、ＣＤラジカセで聞いたりしている。校歌を耳にするとスッキリした心持ちになる。落ち込んでいる自分を奮い立たせてくれたり、有頂天になっている自分を厳しく戒めてくれたりする。また、時には怒りで身を震わせている自分をそっと鎮めてくれる。その時々に自分の背中を力強くも優しく押してくれる。私にとって母校の校歌は人生の応援歌だ。

３月は卒業式シーズンで多くの若者が巣立つ。母校の校歌を胸に刻み、充実した人生を送ってほしいものだ。前途幸多かれと祈る。